

修正内容一覧

物質ID	物質名	CAS番号	項目	修正前					修正後					備考
				分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性H314	注意書き	分類根拠・問題点	分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性H314	
24A6001	3-(ジメチルアミノ)プロパンニトリル	1738-25-6	特定種の臓器毒性(反復暴露)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6024	テロキセン	51-48-9	生殖毒性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6024	テロキセン	51-48-9	特定種の臓器毒性(単回暴露)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6025	ジプロフィリン	479-18-5	生殖毒性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6026	テオフィリン	58-55-9	特定種の臓器毒性(単回暴露)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6039	3-メチル-2-ブチナール	107-86-8	皮膚腐食性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6039	3-メチル-2-ブチナール	107-86-8	特定種の臓器毒性(反復暴露)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6043	4-ニトロメタケレゾール	2581-34-2	生殖毒性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6051	N,N-ジブチルパララリルイジン	99-97-8	発がん性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6053	乳酸(DL-, L-, D-)	50-21-5,598-82-3,79-33-4,10326-41-7	特定種の臓器毒性(単回暴露)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6062	2,3-ジメチルアクリリン	87-58-2	水生環境毒性(長期間)	区分1	環境	警告	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性	区分1	環境	警告	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性	区分1	環境	2014.2修正
24A6063	2,6-ジクロロフェノール	87-65-0	眼に対する重篤な損傷性/刺激性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6071	トフェニルプロパン-1-オール	93-55-0	皮膚腐食性/刺激性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6074	1,2,4,5-テトラクロロベンゼン	95-94-3	特定種の臓器毒性(反復暴露)	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正
24A6085	コハク酸ジメチル	106-65-0	水生環境毒性(長期間)	区分3	-	-	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急速分解性がない。急性毒性区分3があることから、区分3とした。	区分外	-	-	-	信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急性毒性区分が区分2であるが、急速分解性がない(BODによる分解度 90%既存点検 2000)、生物蓄積性もない(LogKow = 0.35 (NITE総合検索 2021))ことから、区分外とした。	2014.2修正	
24A6085	コハク酸ジメチル	106-65-0	水生環境毒性(急性)	区分3	-	-	魚類(ゼブラフィッシュ)による96時間LC50=50-100mg/L (IUCLID, 2000)であることから、区分3とした。	区分3	-	-	水生生物に有害	魚類(ゼブラフィッシュ)による96時間LC50=50-100mg/L (IUCLID, 2000)であることから、区分3とした。	2014.10修正	
24A6088	2-ブチン-1,4-ジオール	110-64-5	生殖毒性	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	2021.10修正

24A6137	2-ピリジンチオールトオキシシドの亜鉛塩(別名:ジシクピリチン)	13463-41-7	眼に対する重要な刺激性・眼刺激性	区分2A	—	—	—	ウサギの眼に本物質10 mgを適用した試験で、重度の結膜刺激と角膜混濁(severe conjunctival irritation and corneal opacity)を起こしたとの結果(PATY (9th, 2012))に基づき、区分2Aとした。	区分2A	感嘆符	警告	強い眼刺激	ウサギの眼に本物質10 mgを適用した試験で、重度の結膜刺激と角膜混濁(severe conjunctival irritation and corneal opacity)を起こしたとの結果(PATY (9th, 2012))に基づき、区分2Aとした。	2014.10修正
24B6509	シクロヘキシルアミン	108-91-8	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(神経系、心血管系)、区分3(気道刺激性)	感嘆符	警告	臓器(神経系、心血管系)の障害のおそれ呼吸器への刺激のおそれ	作業環境中の事故により本物質の蒸気にはく霧された3人の労働者のうち、1人は約1時間のばく露で情緒不安、心悸亢進、不眠を訴え、2人目は強いアルカリ溶液と共に本物質が顔にはねかかり、嘔気、繰り返しの嘔吐、支離滅裂な話し方、散瞳が認められたが、3人目は嘔気のみであった(DFGMAK-Doc. 22 (2006))。本物質は神経毒と考えられており、中枢神経系の抑制を起こすとの記載(PATY (9th, 2001))。また、脊髄の運動神経中核および強質に作用し、投与後数時間で運動性の麻痺をもたらすとの記載(JECFA 202 (1970))もあることから、区分1(神経系)とした。一方、健康男子ボランティアに5または10 mg/kgを単回経口投与後1時間で、収縮期と拡張期の平均血圧が用量依存的に有意な増加を示し、この血管収縮作用は心拍数の僅かな減少も伴った(DFGMAK-Doc. 22 (2006))と報告されていること、本物質の作用として交感神経のみならず、心血管にも波及がある(DFGMAK-Doc. 22 (2006))ことから、区分1(心血管系)とした。さらに、本物質の主な急性影響には気道刺激性が含まれている(ACGIH (2001))ことから、区分3(気道刺激性)とした。	区分1(神経系、心血管系)、区分3(気道刺激性)	健康有害性 感嘆符	危険 警告	臓器の障害(神経系、心血管系) 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)	作業環境中の事故により本物質の蒸気にはく霧された3人の労働者のうち、1人は約1時間のばく露で情緒不安、心悸亢進、不眠を訴え、2人目は強いアルカリ溶液と共に本物質が顔にはねかかり、嘔気、繰り返しの嘔吐、支離滅裂な話し方、散瞳が認められたが、3人目は嘔気のみであった(DFGMAK-Doc. 22 (2006))。本物質は神経毒と考えられており、中枢神経系の抑制を起こすとの記載(PATY (9th, 2001))。また、脊髄の運動神経中核および強質に作用し、投与後数時間で運動性の麻痺をもたらすとの記載(JECFA 202 (1970))もあることから、区分1(神経系)とした。一方、健康男子ボランティアに5または10 mg/kgを単回経口投与後1時間で、収縮期と拡張期の平均血圧が用量依存的に有意な増加を示し、この血管収縮作用は心拍数の僅かな減少も伴った(DFGMAK-Doc. 22 (2006))と報告されていること、本物質の作用として交感神経のみならず、心血管にも波及がある(DFGMAK-Doc. 22 (2006))ことから、区分1(心血管系)とした。さらに、本物質の主な急性影響には気道刺激性が含まれている(ACGIH (2001))ことから、区分3(気道刺激性)とした。	2014.10修正